

千葉県

明海大学 ～援農と養蜂で育てる、明海大学地域共創プログラム～

● ＪＡいちかわとの包括連携協定

- ・協定の基礎は、大学教育の一環として活動を行っていたＪＡいちかわとの継続的な援農ボランティア。
- ・活動をシステム化し、地域発展のための共同事業の実施体制を構築するため、2023年４月に連携協定を締結。

● 協定に基づく年間を通じた活動（実施事例）

- ・外国語学部の学生が、市川市特産「梨」の出荷・袋詰め・販売支援のボランティアとして約１週間参加。
- ・学園祭でＪＡ提供の規格外野菜を使ったメニューを販売し、食品ロス削減と学生の実践機会を創出。
- ・外国語学部の授業でＪＡ職員が農業とSDGsの関係を講演し、持続可能な社会と地域課題への理解を促進。
- ・ＪＡが千葉県産新米１トンを寄贈し、一人暮らし学生の食生活支援として配布、地域とのつながりを強化。

● 連携活動の成果と今後の展望

地域と大学・学生のつながり、学生の地域貢献意識の向上、就職先の選択的拡大といった好影響を踏まえ、今後は外国語学部だけでなく全学的な展開を目指す。

市川の梨でつながる地域と学生
笑顔で楽しく地域に溶け込む



捨てるのは、もったいない！
学園祭で“おいしい革命”



● うらやすハニープロジェクト

- ・ホスピタリティ・ツーリズム学部の学生が中心となって展開している都市型養蜂プロジェクト。
- ・地域活性化に貢献したいとの思いから、学生自らのアイデアで立ち上げ、2022年3月に活動開始。

● 活動内容 – 育てて、採って、届ける。養蜂の学び–

- ・銀座ミツバチプロジェクトの技術指導を受けながら、校舎屋上に学生が巣箱を設置し、週1回の巣箱の点検を行い、年100kg超の採蜜を目指して生産。
- ・商品企画から瓶詰め・包装、販売まで学生が担当。地域イベントや学園祭、浦安市ふるさと納税返礼品に展開。
- ・地元小学校との連携による、蜜源探し・クイズ・巣箱見学・蜂蜜充填の体験学習プログラムの実施。

● プロジェクトの成果と今後の展望

- ・日本はちみつマイスター協会のコンテストで最優秀賞を受賞するなど「最もおいしい蜂蜜」と高い評価。
- ・蜂蜜の安定生産には丁寧な管理が重要。課題はあるが、地域から協力の声も広がっており、連携強化を模索。



Instagramはこちら

★ 概要 ★

援農：外国語学部 2～3年（選択制）

養蜂：ホスピタリティ・ツーリズム学部 約20名

活動分野：援農、養蜂、農産加工

問合せ先：企画広報課 047-355-1101

先輩から後輩へ—受け継がれる養蜂の知恵と、地域との絆



私たちの“うらやすハニー”は、採蜜日で違う味！利き蜜セット

